

北大ピアノクラブ  
サマーコンサート



2025年8月18日(月)  
10:30 開場 11:00 開演  
SCARTS コート

北大ピアノクラブ主催

## ご挨拶

暑い中、本日は北大ピアノクラブサマーコンサートにお越しいただき、誠にありがとうございます。北大ピアノクラブはピアノ好きな部員が集まるサークルで、週1回の例会と年数回の定期コンサートを通じて交流しています。今年度もまだまだコンサート等たくさんの活動を予定しております。少しでも興味のある方は、ぜひ例会等にお越しください。いつでも歓迎しています。

このサマーコンサートは、ベートーヴェンやショパンの名曲から現代曲まで幅広いプログラムとなりました。涼しさを感じる曲や爽快な曲、情熱あふれるような曲が多いと思います。どうぞ最後までお楽しみください。

最後になりましたが、本日の開催にあたり、ご支援ご協力を賜った関係者皆様に感謝申し上げます。

北大ピアノクラブ 35代部長 渡邊晃心

## お客様へ

開演に先立ちまして皆様にお願いがございます。

- ・会場内でのご飲食、ご喫煙はご遠慮ください。
- ・携帯電話や時計のアラームなど音の出る機器は、あらかじめ電源をお切りください。
- ・演奏者の許可のない録音・録画・写真撮影はご遠慮ください。
- ・演奏中の移動や会場の出入りはご遠慮ください。やむを得ず会場の外に出られる際は、係の者の指示に従ってください。
- ・会場内では、個人の判断により必要に応じたマスクの着脱をお願い致します。

全てのお客様に快適に演奏をお楽しみいただけますよう、ご協力をお願い致します

# Program

## 【第1部】

1. Orangestar 「Alice in 冷凍庫」「Uz」  
農学部生物資源科学科 2年 渡邊晃心(わたなべあきみ)
2. ドビュッシー「前奏曲集 第1集より XI. パックの踊り」  
工学部環境社会工学科 4年 酒向みなみ(さこうみなみ)
3. ショパン「スケルツォ 第2番 変ロ短調 Op. 31」  
法学部 4年 初谷実優(はつやみゆう)
4. ショパン「スケルツォ 第3番 嬰ハ短調 Op. 39」  
工学部環境社会工学科 4年 浜口怜子(はまぐちれいこ)

## 【第2部】

5. ベートーヴェン「ピアノソナタ 第14番 嬉ハ短調 Op. 27-2 『月光』 第1楽章」  
工学部応用理工学科 3年 中井優太(なかいゆうた)
6. ベートーヴェン「ピアノソナタ 第23番 ハ短調 Op. 57 『熱情』 第3楽章」  
工学部情報エレクトロニクス学科 2年 加藤龍之助(かとうりゅうのすけ)
7. ベートーヴェン「ピアノソナタ 第32番 ハ短調 Op. 111 第1楽章」  
理学院 2年 笹木元太(ささきげんた)
8. ショパン「序奏とロンド 変ホ長調 Op. 16」  
歯学部 5年 青山翔(あおやましよう)

## 【第3部】

9. ハチャトゥリアン「組曲『仮面舞踏会』より I. ワルツ」  
工学院 1年 坂野遼太郎(ばんのりょうたろう)  
医学部保健学科 3年 吉田彩花(よしだあやか)
10. シューマン「子供の情景『トロイメライ』へ長調 0p. 15-7」  
アルカン「アレルヤ へ長調 0p. 25」  
理学部生物科学科 3年 濱野健太朗(はまのけんたろう)
11. リスト「愛の夢 第3番」  
医学部保健学科 3年 吉田彩花(よしだあやか)
12. モーツアルト「ピアノソナタ第12番 へ長調 K. 332」  
工学部情報エレクトロニクス学科 3年 小畠蒼大(こばたそうた)

## 【第4部】

13. ショパン「バラード第2番 へ長調 0p. 38」  
医学部医学科 2年 清水陽介(しみずようすけ)
14. ショパン「バラード第3番 変イ長調 0p. 47」  
工学部機械知能工学科 2年 森山大耀(もりやまたいよう)
15. ショパン「バラード第4番 へ短調 0p. 52」  
工学院 1年 坂野遼太郎(ばんのりょうたろう)

# Introduction

## 1. Orangestar 「Alice in 冷凍庫」「Uz」

農学部生物資源科学科 2年 渡邊晃心(わたなべあきみ)

### <曲紹介>

Alice in 冷凍庫→Uz の順でメドレーにして弾きます！以下それぞれの曲紹介になります。

#### 『Alice in 冷凍庫』

Orangestar さんの 2017 年リリース、SEASIDE SOLILOQUIES の 1 曲目の曲。ピアノ、ドラム、ベース、ストリングスで構成され、繰り返しパターンが多く爽快なミュージックに透き通った IA の歌声が響く、夏でも冬でもなんか朝に聞きたくなる爽やかな曲です。耳コピするうえで頑張ったところは、ベースがもとになっている左手の単音連打と間奏やサビにある止めの部分。6 分近くの長い曲で左手が疲れるので power でごり押そうと思います。

#### 『Uz』

こちらも同じく SEASIDE SOLILOQUIES の 5 曲目の曲。ピアノとドラムがメインとなっていて、同じく IA が歌う曲です。曲名の読み方はおそらく「うず」(Orangestar さんの twitter から)。キーボードのかな入力で「Uz」とうつと「なつ」になるからなつだという意見もありますが、本人が否定していたような。結論：わからん、たぶんうず。左手を若干楽させてアレンジしました。音を外さないように頑張って弾きます！

## <他己紹介>

『みんな～っ！あきみんの登場だよ～っ！』

えええ～っ！？「あきみんってだあれ？」って思ってるそこのあなたっ！

あきみんを知らないなんて、ほんとにもったいな～いっ！！！

というわけで、今回は！

みんなのハートに光をともす☆

明るく元気な「部長担当」！

わたなべあきみのいいトコ大・公・開～♪

①頭脳明晰、才色兼備のインテリ王子！

なんとあきみん、イケメンなのに、頭もいいの～！

あのキラキラ笑顔の裏には、ロジカル思考と地頭の良さがギュッと詰まってるのよ♡

それに～、こんなに優秀な彼なら、将来はきっと高額納税！

国を支える未来のスーパーマン☆

②ピアノの腕前もピカイチ！

あきみんのスラッとした指が鍵盤を滑ると、あっという間に美しい旋律が流れ出すの♡

その魔法の音には思わずうつとり、、

耳も心もロックオン♪

目からハートがこぼれちゃ～う♡

③実はあきみん、陸上やってるスポーツ男子！

運動できて、音楽できて、頭もいいとか…

人間界のドラゴンフルーツ！

これぞ理想のフローレス男子！

はあ～、もう心がついていきませ～んっ

ドキドキしてる？

その鼓動、アナタが彼に夢中の合図♡

今日はあきみんの演奏が、あなたのハートを狙い撃ちよっ☆

2. ドビュッシー「前奏曲集 第1集より XI. パックの踊り」  
工学部環境社会工学科 4年 酒向みなみ(さこうみなみ)

<曲紹介>

暑くなってくると弾きたくなる曲ってありますよね。私の場合、今シーズンはこの曲でした。

なんか夏っぽくないですか？？草の匂いがしませんか？？？

草の匂いがした方は教えてください。その他の匂いがした方も教えてください。

※パック：妖精。いたずら好き。

<自己紹介>

先月21日の夜遅く、確か海の日だったと思いますが、飲み会から帰ってきて酔っ払ったみなみちゃんに自己紹介文を頼まれました。なんでも、お酒の勢いで来月のコンサートにエントリーしてしまったと。コンサートって、勢いで出るものなんですか？

私は以前趣味で本を書いたことがあって、著者の自己紹介文をみなみちゃんに依頼したのですが、できあがった本を彼女に献本したら、「いや～まじで、私の書いた文章以外はどれも良かったです、まじで」と赤面して恥ずかしそうな様子。でもその他自己紹介文、本を買ってくれた人からは好評だったんですよ。本人はほんとうに自信なさげに恥ずかしそうにしているけれど、なんだかんだ言いつつ良い結果を出してくれる、そんなところがあるなあと思います。マークミスしたって言いながら公務員試験受かっているし。今日のコンサートも、勢いでエントリーしたと言いつつ、かつこよく決めてくれるのではないかでしょうか。

ちなみに彼女は明日が院試だそうです。落ちたら9月から就活だそうで、だいぶ焦っているみたい（執筆時点）ですが、なんだかんだ決めてくれると信じています。だいじょうぶ、落ちたら春から一緒に働きましょう、よろしくです。

3. ショパン「スケルツォ 第2番 変ロ短調 Op. 31」  
法学部 4年 初谷実優(はつやみゆう)

<曲紹介>

ショパンのスケルツォ第2番は、1834年に作曲された、力強さとやしさが美しく交わるピアノ曲です。冒頭は静かに問いかけるように始まり、そこから情熱的な音楽が一気に広がります。激しさの中にも繊細さがあり、中間部では穏やかな旋律が登場します。ショパンの感性が存分に表れた、心に深く響く名曲をお楽しみください。

<自己紹介>

法学部4年の初谷実優です。3歳の頃からピアノを始め、気づけば20年近くになります。クラシック音楽の中では特にショパンの曲が好きで、今まで何度も何度かピアノクラブのコンサートで演奏させて頂きました。大学最後の1年ということで、1回1回の演奏の機会を楽しんで弾くことが出来たらいいなと思っています。

4. ショパン「スケルツォ 第3番 嬰ハ短調 Op. 39」  
工学部環境社会工学科 4年 浜口怜子(はまぐちれいこ)

<曲紹介>

スケルツォ第3番は、ショパンが地中海のマヨルカ島に滞在していた際に着手された作品です。病弱だった彼は、それまで活躍していたパリを離れ、療養のために恋人ジョルジュ・サンドとともにマヨルカ島で過ごしていました。

本来ならば日光が降り注ぐリゾート地のはずでしたが、彼らが到着した頃はあいにくの悪天候が続き、ショパンの体調はかえって悪化してしまいます。さらに、ショパンの病を気味悪がった島の人々に冷たくされたり、パリから送ったピアノがなかなか届かなかったりと、滞在中は様々な困難に見舞われました。そんな中、サンドは看病や家事、仕事に奔走し、献身的にショパンを支えました。およそ3か月の滞在を経てフランスに帰国し、この曲は完成されます。

このような背景を踏まえてこの曲を聴くと、当時のショパンの心情が色濃く反映されているように感じられます。

冒頭は不気味な前奏に始まり、続いて暗く荒々しいオクターブのユニゾンによる第1主題が提示されます。これは、マヨルカでの不安や、迫りくる死への恐怖を表しているのかもしれません。一方で、第2主題は穏やかで美しく、厳かな和音の旋律にきらめくような下降音型が重なります。晴れた日の美しいマヨルカの風景が思い浮かぶような場面であり、あるいはサンドへの愛情を表した部分とも考えられます。2つの主題は調を変えながら交互に現れ、一時は長調のままハッピーエンドを迎えるかと思いきや、突然激しい短調のコーダへとなだれ込み、重々しい和音とともに曲を閉じます。

技術的にも表現的にも非常に難しい作品ですが、ずっと憧れていた曲でもあるので、精一杯心を込めて演奏したいと思います！

### <自己紹介>

怜子姐は京都出身で、ピアノクラブでは33代部長を務めていました。ピアノの腕前はコンクールで賞を受賞するほどで、コンサート出演時にはいつも素晴らしい演奏を聴かせてくれます。昨年末のコンサートでラヴェルの道化師の朝の歌を演奏した際も、非常に完成度の高い演奏でしたが、本人は納得がいかなかつたようでした。コンサート後レッスンに通い始め、年明け2月のコンサートでの再演奏はプロ級にまで仕上がってきました。このようなストイックな姿勢が高い演奏スキルを育んだのだと思い、自分も見習わなければなあと感じました。

怜子姐はピアノの実力もさることながら、語学も堪能です。本場イギリス仕込みの英語と京言葉を話せるそうです。定期的に京言葉を被弾する部員がいるのですが、ブリティッシュ京言葉ともなるとあまりに巧みすぎて、誰が被弾しているのか分からぬほどです。要注意です。

ちなみに、お上品な京都人というイメージとは裏腹に、意外と食いしん坊です。風の便りによると、ホテルのアルバイトで「朝食ビュッフェの残り物は食べてもいい」というルールがあったそうですが、パクパク食べることに申し訳なさを感じ、スプーンに山盛りのひと口だけ食べていただいです。今日の宴会でスプーンを使う料理が出るか今から楽しみです！

もちろん、スケルツオ第3番もめっちゃ楽しみですが！

5. ベートーヴェン「ピアノソナタ 第14番嬰ハ短調 Op.27-2 『月光』 第1楽章」  
工学部応用理工学科 3年 中井優太(なかいゆうた)

#### <曲紹介>

月光第1楽章は、私が初めて知った「月光」で、クラシックに馴染みのない頃から知ってる曲です。

昔から短調な曲が好きで、幻想的な曲が今のマイブームなので、この曲はそれにぴったりです。

人々、幻想曲風ソナタとしかべーとーべんは書いてないそうですが、私はこの月光という題に一番合うなと思います。

#### <自己紹介>

私は、工学部の3年の中井です。ピアノは小学校の頃だけ習っていたのですが、全く熱心じゃなかったので、大して弾けなくて、弾けなかった曲を弾きたいと思ったのが、このサークルに入ったきっかけでした。ピアノクラブの面々と違い、演奏はなかなかうまく行ってないですが、今回は、準備期間がいつもより長いので、まだマシな演奏ができると思います。

さて、私は自動車部にも入っています。簡単にいうと、決められたコースのレースでタイムを競います。競技自体は、横Gがかかるかなり荒い運転ですが、公道ではなく、競技場で行います。違法行為はしていないので、安心してください。

ピアノの腕は、低いですが、頑張って表現します！！

6. ベートーヴェン「ピアノソナタ 第23番 へ短調 Op.57 『熱情』 第3楽章」  
工学部情報エレクトロニクス学科 2年 加藤龍之助(かとうりゅうのすけ)

#### <曲紹介>

この曲はベートーヴェンの3大ソナタ(「悲愴」「月光」「熱情」)のうちの一つで、3楽章は速いパッセージが特徴です。

#### <自己紹介>

普段はショパンばかり弾いていますが、今回は左手を速く動かせるようになるためにこの曲を選びました。予想以上にハードでした。

7. ベートーヴェン「ピアノソナタ 第32番 ハ短調 Op. 111 第1楽章」  
理学院数学専攻 2年 笹木元太(ささきげんた)

<曲紹介>

この曲はベートーヴェンの生涯最後のピアノソナタです。

1819年ごろから作曲は開始され、完成は楽譜に記されている1822年1月13日と考えられます。2楽章構成で第一楽章はソナタ、第二楽章は変奏曲という異例の形をとります。減七の和音が多用され緊張感の漂うハ短調の第一楽章と、穏やかな主題がそのまま変奏が進むにつれて徐々に華やかになっていくハ長調を比較すると、第一楽章はこの世の苦痛への葛藤を表し、第二楽章は苦痛からの解放という形で対になっているのではないかと筆者は感じます。

ベートーヴェンは大体年1曲のペースでピアノソナタを作曲してきましたが、このソナタを完成させた後亡くなるまでの5年間はソナタを作りませんでした。ベートーヴェンがピアノソナタというジャンルで空白期間を作ったのは32番以外だと、23番(熱情ソナタ)の出版後くらいしかありません。23番の後はあまりの完成度に本人が満足してしまってしばらくピアノソナタに手を出さなかったと言われています。一方で32番の後の空白期間は「この曲でソナタは最後」という固い意志の元でこの曲が世に送り出されたことを意味するのではないかと筆者は思います。

今回はこのようにベートーヴェンの人生の総決算とも言えるピアノソナタを演奏します。ベートーヴェンは毎回自分の技術力の無さから悔しい思いをしてますが今回はどうなりますかね(自白)

<自己紹介>

皆さんご存知かとは思いますが、改めて元太を紹介させていただきます。…というより、彼はピアノクラブ例会の常連ですので、むしろ皆さんが彼のことをご存知かもしれません。ですので、「元太ニワカ」としての私は、想像力を総動員して彼の紹介に挑ませていただきます。

今から24年前、彼は埼玉の少し淀んだ空気の中で誕生しました(故郷を懐かしむために彼はいつも煙草を吸っていると筆者は考察しています)。都会とも田舎とも言えぬ、どちらかといえば都会寄りの環境で、金持ちとも貧乏とも言えぬ、やや裕福な家庭に育ちました。特におじいちゃんとおばあちゃんにはたいへん可愛がられ、たくさんのお菓子をもらっていたそうです(彼の立派な体型はこの頃に形成されたと筆者は推測しています)。

彼にとって最初の人生の転機は、カ○高への進学だったでしょう。県内

随一の男子校として名を馳せる一方、個性豊かな変人たちが集まることで有名な学校でもありました（彼の独特な思想はこの時期に形成されたものと思われます）。古き良き時代錯誤のエッセンスを煮詰めたような環境で、彼が地元との繋がりや先輩後輩の縦の関係を大切にするようになったのも、良くも悪くもこの学校の影響でしょう（卒業後六年間音沙汰がなかつた筆者もぜひ見習いたいところです）。

二度目の転機は、北大への編入です。埼大時代は「暗黒時代」とも噂され、40kg台まで痩せ細っていたとも言われています（気になる方は本人にぜひ聞いてみてください）。そんな時、卓球部の顧問であり恩師でもある柴崎先生の勧めで、彼は北の大地・札幌へ。北大に来てから彼はピアノクラブに入部し、水を得た魚のように（あるいは、酒を得た鯨のように？）暴飲暴食、そしてアルカンの限りを尽くし、今の笹木元太が完成したのでした。

P. S. 二楽章弾けなくてごめんちやい

#### 8. ショパン「序奏とロンド 変ホ長調 Op. 16」

歯学部 5年 青山翔(あおやましよう)

#### <曲紹介>

ショパンのロンドのうちピアノ独奏曲はOp. 1、Op. 5(マズルカ風ロンド)、Op. 16(序奏とロンド)、Op. 73の4曲ありますが、いずれも演奏される事はほぼありません。他には2台ピアノのロンド作品(Op. 73の2台ピアノ版)や管弦楽のためのロンド作品(演奏会用ロンドOp. 14)がありますが、こちらも演奏される事はほぼありません。

今回演奏するOp. 16は1832～3年、ショパンが22歳の時の作品です。曲は51小節からなる長い序奏に始まります。序奏の部分ではAndante、agitato、Piu mosso、Meno mossoの指示により曲想が変化し、次第に落ち着いた後にロンド主題が始まります。飛び跳ねるようなロンド主題が全部で4回奏され、その後にコーダが続きます。

ロンドOp. 1、Op. 5のポーランド風のロンドとは対照的にOp. 16はサロン風の曲との事なので意識してみます。

#### <自己紹介>

夏休みだし練習頑張ります。

9. ハチャトゥリアン「組曲『仮面舞踏会』より I. ワルツ」

工学院 1年 坂野遼太郎(ばんのりょうたろう)

医学部保健学科 3年 吉田彩花(よしだあやか)

<曲紹介>

ハチャトゥリアンとか誰やねんって感じかもしれません、面白い作品を書く人です。「剣の舞」もハチャトゥリアン。作品を聞くと「ああ～アレかあ...」といった感じだと思います。今回の仮面舞踏会も「ああ～コレかあ...」となっていたただきたいと思います。フィギュアスケートで使われたこともあるようですね。へえ～。

今回弾くのはワルツ。3拍子のリズムが特徴的なゆったりとした舞踊曲をワルツといいます。ショパンやチャイコフスキイなどのワルツを聞くと、煌びやかで上品な舞踏会がイメージされますが、一方でこの作品はそれらとは一線を画します。おどろおどろしい雰囲気、奇妙な不協和音、安定しない調性...しかし、それがまたクセになるのです。この曲が愛される理由でもあるのでしょうか。

この曲は「仮面舞踏会」と呼ばれます。素顔を隠す不気味な舞踏会で、何が入っているかもわからない酒を片手に一晩中踊り狂うような、狂気の世界を演出できたらと思います。

筆者(低音パート担当)は下戸です。酒飲んだら普通に死にます。  
相方(高音パート担当)は酒豪です。酒飲んでも顔色変わりません。仮面被つとるんかいな。

10. シューマン「子供の情景『トロイメライ』へ長調 Op. 15-7」

アルカン「『アレルヤ』 へ長調 Op. 25」

理学部生物科学科 3年 濱野健太朗(はまのけんたろう)

<曲紹介>

『トロイメライ』 Op. 15-7

シューマンのピアノ曲集『子供の情景』より、おそらく最もよく知られている一曲です。

ドイツ語で「夢」を意味するこの曲は、夢の中をたゆたうような、穏やかでやさしく包み込むような曲調が魅力です。

温かく、しかしどこか切なく儚いメロディに耳を傾けていると、幼いころの記憶や懐かしい思い出、心に残る出来事などが自然と呼び起こされ、人生の走馬灯を見ているかのような感覚になります。

『アレルヤ』 Op. 25

敬虔なユダヤ教徒であったアルカンによる作品。

「Alleluia (アレルヤ)」とは、神への賛美を表す歓呼の言葉であり、その名にふさわしい、莊厳で神々しい美しさと迫力を持った楽曲となっています。全体を通して重厚な和音が多用されており、響きの豊かさが印象的です。

本サークルでは比較的演奏される機会が多いアルカン。私自身は今回が初挑戦ということで、楽しんで演奏したいと思います。

<作曲家紹介>

アルカン(1813-1888)は、ショパン(1810-1849)やリスト(1811-1886)と同時代に活躍したフランスのピアニスト・作曲家です。ショパンやリストとも親交があり、特にショパンとは親しい間柄だったといわれています。

ショパンの死や、自身のキャリア上の挫折を機に、公の場から姿を消し、約25年にわたる隠遁生活を送っていましたが、その間も作曲活動は精力的に続けられ、多くのピアノ作品を残しました。超絶技巧が要求される大曲から繊細で美しい小品まで幅広く、技術と詩情が共存する魅力的な作曲家です。

### <自己紹介>

とある友人をまねて「実績解除のためのお金はタダ」というポリシーで動いていたら金欠になりました。

### <他己紹介>

濱野くんはピアノクラブ次期マイナー曲弾き候補です。最近、彼が新たに発見した曲を筆者に送り付けてくるようになりました。非常に喜ばしいことです。2023年の秋、まだ彼は超有名曲しか知らないごく普通の青年でした。そんな彼が遂にアルカンに手を出すとは……。音楽も酒もよくピアノクラブに染まっております。恐らく数年後には誰も知らない作曲家を発掘してくることでしょう。今後が楽しみですね!!

### 11. リスト「愛の夢 第3番」

医学部保健学科 3年 吉田彩花(よしだあやか)

### <曲紹介>

誰もが耳にしたことのある、うつとりとしたメロディを持つこの曲は、"Liebesträume-3 Notturnos für das Pianoforte "3つの夜想曲「愛の夢」S. 541 という3曲から構成されるピアノ曲のうちの1曲です。

この3曲は、リスト自身が、ドイツの詩人ヘルマン・フェルディナント・フライリヒラートの拾遺詩集「東のあいだで」という10連からなる詩のうち4連だけを用いて作った歌曲を、後に自分でピアノ編曲したものです。

第3番に用いられた、「愛しうる限り愛せよ」だけ聞くと熱烈な愛(恋愛)の歌のように感じますが、他の部分や、歌曲版も聞いてみたり、リストのレッスン日記を読んでみると、熱烈な愛の歌ではなく、やや皮肉のこもった愛情として解釈していたともとれるような気がします。

私は、この曲は、サン・テグジュペリ作の『星の王子さま』のように、年齢を重ね、読む度に(弾く度に)感じ方が変わらぬのかなと思っています。前に弾いた時から約10年、色々経験してより深みのある『愛』を表現できたらなと思います。

## <他己紹介>

34期知床旅行中に聞いた、他己紹介『闇鍋』です。34期のとある5名に書いてもらいました。皆さんはどうが誰だかわかりますか？

①彩花ちゃんは保健学科の3年生()です。とっても優しくて、しごできなお姉さんです(若干求めるレベルが高いのが玉に瑕ですが…). 最近はバイトでとっても忙しくしているようで、LINEが返ってきません。忙しいと生命維持に必要な活動を疎かにしがちなので気を付けて欲しいですね。  
さて、今日のコンサートではリストを弾いてくれるそうです。私は彼女のリストの独奏を聴くのは初めてなので楽しみにしています。

追伸

冬の連弾頑張ろうね(私はまだ譜読みしてません )

②バイトで忙しい彼女ですが、最近berealを始めたようです。みんなでリアクションスタンプでエールを送りましょう。

③不企図，我和你是留级的朋友。

④いつも働いています。

とても器用に色々なことをこなします。

困った時は彼女を頼ると力になってくれるかもしれません。

⑤こいつあすげえぞ…死線を潜り抜けてきた回数が違う…

やつは何においても爆速だ。チャリも、車も、仕事も勉強バイト譜読みetc  
即ち人生！

ははっ、事故らないように気をつけないとな。

12. モーツアルト「ピアノソナタ第12番 へ長調 K.332」

工学部情報エレクトロニクス学科 3年 小畠蒼大(こばたそうた)

<曲紹介>

モーツアルトらしい、華やかで軽快な旋律とリズムが特徴的な曲です。次々と起こるフレーズの変化にもご注目ください。

<自己紹介>

こんにちは。小畠蒼大です。

久しぶりのコンサート出演、とても楽しみにしています。

最近、連弾・2台ピアノ・リレー演奏等に興味が湧いています。一緒に弾いてくれる方募集中です。

13. ショパン「バラード第2番 へ長調 Op. 38」

医学部医学科 2年 清水陽介(しみずようすけ)

<曲紹介>

バラード第2番はショパンの1839年の作品で、シューマンに献呈されています。穏やかで優美な主題から始まり、中間部では激しい嵐のような情熱的な展開が特徴的。対照的な雰囲気が交錯し、ドラマティックな構成が魅力です。

<自己紹介>

清水陽介、北海道大学医学部医学科ドイツ語専攻2年生。ピアノクラブでは会場係を務め、例会やコンサートの会場を押さえってくれている。毎週のように山に登っており、彼のインスタは綺麗な風景や星空の投稿(まじできれい)と、馬の被り物をかぶってピアノを弾いている動画の投稿であふれている。スマセン盛りました、馬は多分1つしかないです。だいたい早口でエンターテイナーな彼は今回ショパンのバラ2を弾くらしい。「バラ2って急にヒスリだす」とか言うてたので本番中に本人がヒスリださないかやや心配です。まあ大丈夫か!

Postscript 独語受かるといいね！！

#### 14. ショパン「バラード第3番 変イ長調 Op. 47」

工学部機械知能工学科 2年 森山大耀(もりやまたいよう)

##### <曲紹介>

長いですが、起伏が激しく飽きません。

個人的にも結構好きな曲です。

頑張ります。

##### <自己紹介>

森山大耀。もりやま。大阪出身で本場の関西弁を巧みに操る。口癖は「しぶき回したろか！」工学部の製図で忙しそうにしてる。練習室でレッドブルを飲みながらバラード3番と格闘している。セコマでバイトをしていたが客層が悪かったので辞めたらしい。教習所を期限ギリギリになるまでほとんど通わず、焦って通い出した。趣味は石破叩き。いつも赤い帽子をかぶっている。#アメリカファースト (嘘) 愉快な人だと思います。

#### 15. ショパン「バラード第4番 へ短調 Op. 52」

工学院 1年 坂野遼太郎(ばんのりょうたろう)

##### <曲紹介>

ショパン円熟期の傑作にして、彼の作曲技法が尽くされた大規模な曲です。舞曲、変奏曲、カノン、カデンツア、エチュードなど様々な要素が登場し、求められる技術が場面によって大きく異なることから、音楽的にも技術的にも非常に高度な難曲とされます。

ショパンのバラード4曲は、ポーランドの詩人アダム・ミツキエヴィチの抒情詩からインスピレーションをうけたとされます。ショパンは明確な情景やストーリーを表現した「標題音楽」は作らなかつたとされており、確かにこの曲の中でもそのような露骨な描写は見られません。抒情詩の影響を受けたとされていますが、4つのバラードがそれぞれどの抒情詩に対応しているのかすら、ショパンは明言しなかつたそうです。しかし、ドラマチックな展開や内省的な曲調は、まさしく音楽として表現された抒情詩、「バラード」の名に相応しいのではないか。

この曲の何がそんなに難しいのか？簡単にいうと「音が多くすぎる」ことです。

多くの人は2本の手、10本の指でピアノを演奏します。この時、基本的には右手で旋律を、左手で伴奏を弾くことになります。難曲ではどうなるのか？右手1本で二つの旋律を同時に弾く必要が出てくるのです。これが非常に難しい。各指を独立させつつ、音楽として成立させなければならない。かなり独特な練習が必要になってきます。というわけで、バイトと研究とピアノと就活を両立させながら頑張りましょう。

あつ——

ころんじやった。

えっ…骨折…？ ころんだだけで…？

ということで二週間のブランクが発生しました。頑張りましょう。  
え嘘やん笑。やば笑。

### <他己紹介>

坂野さんは私たちのお兄さんであり、弟でもあります。

坂野さんは酔っぱらいであり、シラフでもあります。

坂野さんは私たちの過去であり、未来でもあります。

坂野さんのピアノはとても上手いです。

ピアノを弾いている時は、だれよりも輝いています。

故に私は坂野さんを慕っております。

また、R団に入団しその厳しさを知ると共に、より坂野さんのすごさを実感しました！

これからも一緒に他人のポケモンを奪っていきましょう。

我々の師、坂野さんの紹介でした。

## ～今後のコンサート～

### ♪. 旧帝大コンサート

日時：9月13, 14日（土, 日） 開場開演：未定  
伊部キャンパス椎木講堂（九州大学）

### ♪. フレッシュマンコンサート

日時：9月25日 開場開演：未定  
クラーク会館講堂

### ♪. オータムコンサート

日時：10月15日 開場開演：未定  
クラーク会館

### ♪. ウィンターコンサート

日時：12月20日（土） 開場開演：未定  
ルーテルホール

### ♪. フェブラリーコンサート

日時：1月31日（土） 開場開演：未定  
芸術の森 アートホール





## HOKUDAI PIANO CLUB

Mail : hokudaipc2025@gmail.com

Instagram : @hokudai\_piano

X(旧 Twitter) : @hokudai\_piano

Website : <https://university.secret.jp/>